

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年7月1日

【評価実施概要】

事業所番号	3670300148
法人名	医療法人ふじのクリニック
事業所名	グループホーム たんぽぽ
所在地	徳島県小松島市坂野町字島の内101番地1 (電話) 0885-35-7660

評価機関名	社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
所在地	徳島県徳島市中昭和町1丁目2番地
訪問調査日	平成20年6月24日

【情報提供票より】(平成20年 6月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・ 平成 13年 3月 28日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	14 人 常勤 9人, 非常勤 5人, 常勤換算 ひなぎく6.2人 すみれ5.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	26,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	300 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり		1,000 円	

(4) 利用者の概要(6月 1日現在)

利用者人数	18名	男性	1名	女性	17名
要介護1	6名	要介護2	3名		
要介護3	3名	要介護4	3名		
要介護5	3名	要支援2	0名		
年齢	平均 87歳	最低	79歳	最高	99歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	藤野医院
---------	------

徳島県 グループホームたんぽぽ 1

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は地域の中心部に位置し、周囲には農協や小中学校、医療機関等がある。玄関前にはベンチが設置されており子どもの通学や人の往来、農作業をする方々などとふれあう機会が多く、地域の中に溶け込んでいる。利用者は職員の細やかな支援のもと安心した生活を送っている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 「他の事業所との交流を通じたさらなるサービスの質の向上に向けた取り組み」、「災害時における地域住民への協力の働きかけや職員の防災意識の向上などに向けた取り組み」といった前回評価での課題は、すべて改善されている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者、職員は評価の意義をよく理解し、自己評価について全員で取り組みサービスの質の向上に努めている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 会議は市職員、家族、近隣住民、老人会、婦人会の代表が参加している。討議内容は、事業所からの行事報告や災害・事故の対応等について話し合っている。また、地域住民へ避難訓練への参加や災害時の協力を依頼している。話し合った内容は全職員に伝達されている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 職員は利用者や家族から相談・苦情等を伝えてもらえるよう、常にコミュニケーションを大切にしながら接している。意見箱を設置し、意見等を出しやすいよう工夫している。また、利用者の状況変化については口頭や電話でそのつど報告し対応方法などを相談している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 隣接する家の方と野菜を交換したり、お互いに行き来しやすいよう柵の一部を開けてほしいと提案があったりと積極的な交流が行われている。また、地域の運動会にも参加している。事業所は「たんぽぽだより」を家族に加え近隣の民家にも配布している。また、地域住民で組織するボランティア団体の演芸や小中学校職業体験、夏休み宿泊ボランティア体験などを受け入れており、地域との交流やグループホームへの理解をさらに深められるよう取り組んでいる。

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービス創設時に理念を見直している。地域での安心した暮らし、柔軟な支援を理念にしている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は、玄関やスタッフルームに掲示し日々のミーティングで確認し、実現に向けた取り組みができるよう共有している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	隣接する家の方と野菜を交換したり、お互いに行き来しやすいよう柵の一部を開けてほしいと提案があったりと積極的な交流が行われている。また、地域の運動会にも参加している。事業所は「たんぼぼだより」を家族に加え近隣の民家にも配布している。また、地域住民で組織するボランティア団体の演芸や小中学校職業体験、夏休み宿泊ボランティア体験などを受け入れており、地域との交流やグループホームへの理解をさらに深められるよう取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価についての会議を設けており、意義の理解や課題について話し合いに努め改善に向けて取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は市職員、家族、近隣住民、老人会、婦人会の代表が参加している。討議内容は、事業所からの行事報告や災害・事故の対応等について話し合っている。また、地域住民へ避難訓練への参加や災害時の協力を依頼している。話し合った内容は全職員に伝達されている。しかし、平成19年度は2回の開催である。	○	運営推進会議は2ヶ月に1回開催されたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護保険課や福祉事務所担当者とホームの運営や課題について相談できる関係が築かれており、連携を密にとり協力しながらサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪が多く、利用者の暮らしぶりや健康状態を伝えたり支援方法を相談したりと、状況変化に対応したサービスを提供している。また、「たんぽぽだより」の発行や行事写真の掲示などにより、利用者の生活状況を家族へ伝える工夫もされている。金銭管理の記録は家族のサインがある。しかし、職員の異動状況が伝えられていない。	○	職員の異動については、「たんぽぽだより」に掲載するなど利用者や家族に分かりやすく伝えられるよう工夫することが望まれる。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員は利用者や家族から相談等を伝えてもらえるよう、常にコミュニケーションを大切にしながら接している。意見箱を設置し、苦情等を出しやすいよう工夫している。要望等はミーティングや会議等で利用者の視点に立って話し合わせ、運営に反映している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	各ユニットへ同じ職員を配置することにより馴染みの関係を維持し、利用者・家族との信頼関係を築いている。やむを得ない事情で異動する場合等は一人ひとりに説明し、納得を得ている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修案内があれば職員に回覧して内容を検討し、管理者が勤務年数や経験、資格等を勘案し、参加者を決定している。内部研修では外部研修の復命が行われるなど、情報を共有し共に学べるよう工夫している。しかし、計画はたてられていない。	○	外部研修の案内時期は明確でないため難しいが、全職員が段階に応じた研修を受講できるよう、内部研修の計画を立てて実施するなど工夫されたい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人関連事業所のほか他事業所との交流も行っている。市内・外のグループホームとの相互交流や、年1回管理者の相互評価を行うなどサービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気や徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前に事業所を見学してもらったり状況に応じてスタッフが自宅を訪問したりと、場の雰囲気や他の利用者、職員と徐々に馴染めるようコミュニケーションを図っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の生活歴や能力を踏まえて家事を分担したり畑仕事を行ったりと、日常生活の中で共に支えあう関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	食事中の会話から嗜好品を把握するなど、日々の会話や行動などから利用者の希望や意向の把握に努めている。意向の把握が困難な方には、日々のコミュニケーションや行動から思いを推測できるよう注意深く接している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々の暮らしの中で利用者の意向を聞いたり、家族の来訪時に要望を聞いたりした情報をもとにカンファレンスを開催し、介護計画に反映させている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じた見直しを行っている。また、利用者の状態変化などに応じてそのつど本人・家族と協議し、現状に即した見直しを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の通院や外出援助等、柔軟に対応している。また、近隣の高齢者のニーズに応じて、ショートステイやデイサービスの利用ができるようにホームの多機能化を活用した支援が実施されている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者・家族の希望にそったかかりつけ医に受診できるよう、通院介助・点滴の付添い・往診依頼等の支援が実施されている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時から利用者・家族・職員等で協議し、かかりつけ医との連携を図りながら重度化した場合や終末期に向けた方針を作成し、全員で共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	排せつの誘導時にはさりげなく言葉かけを行ったり、居室に入る際には必ず声をかけたりと、一人ひとりの自尊心やプライバシーに配慮した言葉かけや態度に注意している。また、職員はお互いに気付いたことをミーティング等で話し合い、より配慮した対応ができるよう意識の向上に努めている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者がどのように過ごしたいと考えているのかを常に把握できるように努め、行動を見守っている。認知症によってはさりげなく言葉かけを行う等、利用者のペースや希望に合わせた支援が行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事には季節が感じられるよう旬の食材を取り入れている。また調理や食事、後片付け等を一緒に行っている。食事中は、献立や味付け、調理方法などについて話をするなど共に楽しんでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	浴槽での入浴やシャワーの使用など一人ひとりの状態に応じて対応している。また、入浴時間や順番等は希望に応じて支援している。入浴を嫌う方には、散歩や買い物など興味や関心があることと結びつける等の工夫を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事や手芸、野菜作り等の興味、関心事、生活歴などを活かし、役割や楽しみごとを負担にならない程度に支援することにより気晴らしの場面づくりがされている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の体調や希望に応じて散歩や買い物、通院など外出の機会をつくり屋外の活動を支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は居間や廊下などの共有空間が常に見守れる場所に配置され、利用者の状態に応じた気配りや支援を行い日中、鍵をかけないケアを実践している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策マニュアルが作成されている。訓練は年2回実施されており、運営推進会議以後、消防署・警察・地域住民等との協力関係が築かれている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	母体法人の栄養士と連携を図り、旬の食材や季節の果物を使用した献立をたてている。利用者の状況に合わせて調理方法を工夫している。水分は食事時やおやつ、夜間など定期的に摂取できるよう言葉かけなどを行っている。食事・水分摂取量は記録し職員間で共有している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関前の庭には草花が植えられている。室内はバリアフリー化されている。また、設備案内用の張り紙や居室を認識するための個別の置物なども置かれるなど、間違わないよう工夫している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には位牌や布団など家庭で使用していたものが持ち込まれている。また、利用者の生活様式などに応じて畳を敷いた居室もあり、一人ひとりの思いを活かした居室づくりがされている。		